

テン (ホンドテン) (学名: *Martes melampus*)

[イタチ科テン属]



夏毛(2013/9/28撮影)



冬毛(2014/1/4撮影)

テン(ホンドテン)は、本州、四国、九州の低山地から亜高山帯の森林に生息しています。体長40~50cmほどのイタチ科の哺乳類で、亜種のツシマテンは、国の天然記念物に指定されています。

鳥類、ノネズミ類、両生爬虫類などの小型動物、昆虫などを食料にするほか、果実類も食べる雑食性です。春から秋にかけては、ヤマザクラやクワ、マタビなどの種子がテンの糞に見られます。冬場になると餌となる果実類が無くなることから肉食性が強くなり、性格も多少凶暴になるといいます。

テンは、冬になると毛の色が鮮やかに変化します。夏毛は、顔と四肢が濃い褐色で、胴体の色は、鮮やかな黄色(キテン)から褐色(スステン)まで個体差があります。冬毛は、顔が白く四肢は濃い褐色になり体が鮮やかな黄色に変化します。行動時間は特に決まっておらず、昼夜問わずに活動します。冬眠はしません。

只見町内のほぼ全域に生息し、特に冬場になると、池の魚や残飯などを狙って人家周辺に現れます。

テンの毛皮はとても美しく高価であったため、里周辺で罠を使った仕掛で捕えていたようです。また、床の間の飾りものとして、テンの剥製が多く作られています。

企画展示

旧田子倉集落の生活と文化
【ふるさと館田子倉コレクション】

1月5日(日)~4月14日(月)までの期間で開催

詳しくは、
只見町ブナセンター
までお問い合わせ
ください

この度の企画展は、田子倉出身の^{みなかわわたる}皆川弥氏が田子倉集落の歴史を保存し、後世に残すことを目的に設立した「ふるさと館 田子倉」の展示物をお借りして展示を行っています。

(お詫びと訂正)

広報ただみ1月号で上記企画展について「渡部 弥氏」とありましたが正しくは「皆川 弥氏」です。大変申し訳ありませんでした。お詫びして、訂正いたします。

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています